



研究教育の立場から見る理系学生の就職活動について

小野 篤史†

Job Hunting for Science Students from the Perspective of Research and Education

Atsushi ONO†

年々、学生の研究時間が就職活動時間にとられているなど感じているため、その思いについて綴りたい。私の研究室に所属している修士課程学生は、1年前期に集中的に講義を履修し、6月から夏のインターンへの申請、8月頃に2~3週間のインターンシップに参加、11月から秋冬インターンへの申請と2~3週間のインターン、年明けからは早期選考、春にかけて本格的な就職活動、4月頃に企業推薦と続き、これらの期間にも随時企業からの説明会、座談会に参加し、内々定をいただくまで1年中就職活動をしている。この期間も計画的に研究を進めるよう指導しているが、説明会や座談会も平日午後に行われるため、確実に研究に支障を生じている。

一つ一つの企業を見ると、そこまで過度に実施している訳でもないが、学生にとっても人生の節目であり、就職活動は人生を左右する重要な活動であるため、可能な限り多くの企業を知りたい、受けたいと思うことも理解できる。就職活動よりも研究を優先して集中しなさいとはとても言えない。研究に集中してもらえよう何か打開策はないか、なんとかしたい、なんとかしてほしいという思いが年々募っている。

このことを鑑み、経団連は就職解禁時期を遅らせ、春季に集中的に就職活動が行われるように方策を実行されたりしているが、企業側もインターンシップをうまく活用して選考に役立てるなどされ、大企業と中小企業で事情が異なっているなど就職活動期間の短期間化は困難な課題といえる。従って、大学側でも独自に打開策を講じるべきではないかと考える。

十分に研究に集中する期間を確保することが目的であると考え、研究室配属後の実質的な就職活動期間を短くする、あるいは研究室配属期間を長くすることが求められる。前者に対しては、例えば、大学院進学者に対しても学部就職学生と同様に3年生の時期に企業説明会やインターンシップに参加し、研究室配属前に自身の将来をよく考え、企業をよく知ることが重要と思われる。これにより研究時期のエントリーシート書類作成や企業サーチ、説明会等への参加を省略できる。もう1点は大学推薦就職制度の拡充である。現状の学推は学生にとっては初期選考免除程度の恩恵であり、かなり企業側にメリットの大きい制度となっている。推薦での内定率が上がれば、学生も学推を積極的に活用するようになり、実質的な活動期間は短くなることが期待される。しかしこれには、大学での教育、研究指導力のレベルを向上し、大学と企業との信頼関係を構築していくことが重要である。

後者の研究室配属期間を長くする方策としては、例えば、成績優秀学生の早期配属が効果的であると考えられる。いくつかの大学、学部では導入されている。しかし、研究室指導学生が実質1学年分増えるため、学生数の増加に伴う学生部屋や実験室の拡張も必要であり、教員数削減、敷地面積の削減の方向にある昨今においては教員負担の増大は避けられない。もう1点は博士課程進学率の向上である。学生が博士課程に進学すれば単純に3年間研究期間が増え、学生も博士号学位修得に向けて研究に専念するため、非常に大きな打開策となり得る。文科省も大学フェロシップ創設事業にて博士課程の処遇を優遇する支援制度を開始しており、今後が期待される。しかし、この支援制度を最大限活用するためにも学生に進学したいと思ってもらえるように、大学側としても魅力ある研究を推進することが重要である。学生は博士課程に進学することによって就職しにくくなるのではないかと、ということ懸念しているが、研究にしっかり取り組んで博士号を修得するだけの力があれば、修士課程と変わらず就職できると私は思う。むしろ研究開発職思考の強い学生は、博士課程に進学した方が希望する企業の研究開発職に就ける可能性が高いと思われる。企業には是非積極採用をしていただきたいところであるが、やはりこれもまた大学と企業との信頼関係に依存するところが大きく、大学教員には魅力ある研究テーマを設定することが重要であるし、責任をもった研究指導が求められる。

学生に集中して研究に取り組んでもらうことを考えると、いろいろ打開策は考えられるが、最終的には大学教員の負担が増大することとなる。また、個々の教員の研究力向上も求められるため、大学教員への待遇を改善することが良いのではないだろうか。

† 静岡大学 工学部電子物質科学科(〒432-8561 静岡県浜松市中区城北3丁目5-1)

† Department of Electronics and Materials Science, Faculty of Engineering, Shizuoka University, 3-5-1 Johoku, Naka-ku, Hamamatsu, Shizuoka 432-8561